

木材工学特論 (2単位)

担当者氏名 小林 純・大林宏也

◆学習・教育目標

木材工学に関連した論文の理解・作製に必要な専門用語や英語表現を習得するために、和文論文と英語論文の講読を行う。また、論文の作成にあたって必要となる問題点の把握・考えの整理と発送・実験計画に関する思考技術についての紹介・解説と演習を行う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

QC	親和図法	連関図法	系統図法
マトリックス図法	アロー・ダイアグラム法	PDPC 法	

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	和文論文講読(1)	自分の修士論文テーマに関連し そうな論文を自分で選び、その内容 をプレゼンテーション形式で発表 する。	一般的な論文の形式を理解すると共に 専門用語の理解や表現を身につける。
2	(2)		
3	英文論文講読(1)		
4	(2)		
5	(3)		
6	思考の技術 (1)QC	従来の QC には、パレート図、特性 要因図、管理図、ヒストグラムなどが あり、解析と管理、品質の改善のため につかわれているが、それに加えて キーワードに示したような方法に ついて解説・演習する。	各自の論文テーマについて演習内容 を適用してみる。 論文テーマに関するキーワードをできるだけ 沢山考えておくこと。
7	(2)親和図法		
8	(3)連関図法		
9	(4)系統図法		
10	(5)マトリクス図法		
11	(6)アロー・ダイアグラ ム法		
12	(7)PDPC 法		
13	まとめと演習(1)		
14	まとめと演習(2)		

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

木材科学ハンドブック／岡野 健,祖父江信夫 編集／朝倉書店（2006）

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

木材工学辞典／日本材料学会 木質材料部門委員会 編

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

演習の内容を小実験に適用したレポート

◆その他受講上の注意事項

誤解できなくて分かりやすく、しかも簡潔な文章を書くために、日本語の作文技術に関する本を自分で探して最低1冊は読んでおくこと。